



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年10月25日

上場会社名 株式会社 プレステージ・インターナショナル
 コード番号 4290 URL <http://www.prestigein.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 玉上 進一

問合せ先責任者 (役職名) グループ経営戦略本部長 (氏名) 中山 克哉

TEL 03-5213-0826

四半期報告書提出予定日 2019年11月13日

配当支払開始予定日

2019年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	20,688	15.6	2,417	20.7	2,595	19.3	1,340	7.8
2019年3月期第2四半期	17,901	12.3	2,002	10.6	2,176	10.3	1,453	16.4

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 1,298百万円 (28.7%) 2019年3月期第2四半期 1,821百万円 (27.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	10.48	10.40
2019年3月期第2四半期	11.38	11.30

当社は、2019年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	40,358	28,606	67.1
2019年3月期	39,023	27,739	67.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 27,073百万円 2019年3月期 26,343百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		6.00		7.00	13.00
2020年3月期		7.00			
2020年3月期(予想)				3.50	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2019年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、2020年3月期(予想)における期末配当金については、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,000	10.2	5,300	13.1	5,500	11.6	3,600	13.3	28.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、2019年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。そのため、2020年3月期の連結業績予想における通期の1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	127,954,400 株	2019年3月期	127,902,200 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	708 株	2019年3月期	660 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	127,932,557 株	2019年3月期2Q	127,816,087 株

当社は、2019年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数(自己株式を含む)及び期末自己株式数並びに期中平均株式数(四半期累計)を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は2019年10月25日(金)に当社ウェブサイトに掲載いたします。

(株式分割について)

当社は、2019年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期(2019年7月1日~2019年9月30日)における当社グループを取り巻く経済環境において、世界的には貿易摩擦の激化による世界経済の先行きに対する不透明感から、貿易環境の悪化が示唆されております。国内的には、深刻な人手不足や働き方改革を背景とした省力化投資が謳われるなか、BPO市場におきましては、底堅い需要を維持し、当社グループにおいても堅調に成長しております。

このような環境の下、2018年5月に新たに策定した中期経営計画(HOP3)に基づき、「継続的・安定的な成長」「プレステージ・インターナショナルでしか実現のできないサービスの創造」等を骨子とし、ビジネス、人財、地方創生の各分野でリテンション(囲い込み)を実現する取組を実施しております。人財採用につきましては、雇用状況の厳しい中、地域での積極的な職場環境の創造と退職率を抑制する施策の設計、実施を行いました。

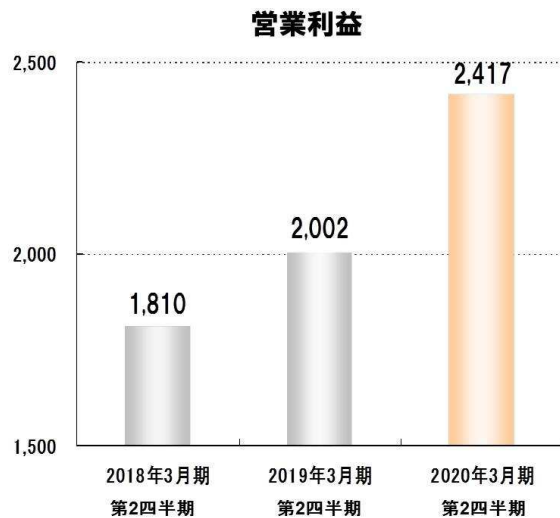
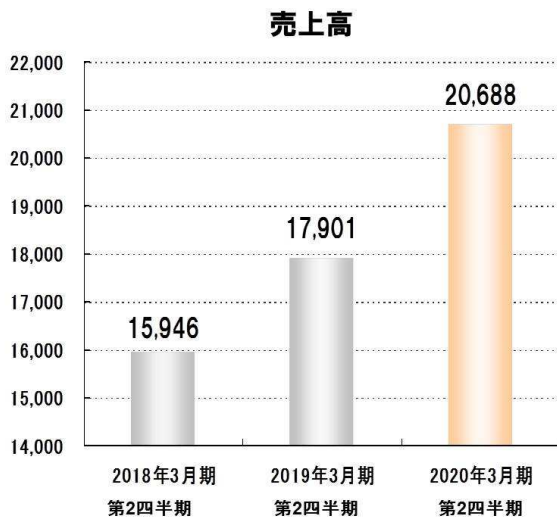
戦略的重要施策である現場対応グループ会社の拡充・強化につきましては、フランチャイズ参加企業への取り組みを継続しております。加えて、現場対応の最新技術を習得することを目的に富山に「総合研修センター」建設を計画し、準備を進めております。

ESGへの取組も強化し、女性活躍、健康経営をテーマに時間単位有給制度の導入やBPO拠点でのカフェメニューの刷新等を実施いたしました。

地方創生においては、BPO設置拠点である富山において、昨年に引き続き、「東京ガールズコレクション」のプラチナスポンサーとしての協賛、地域産業育成を目的とした投資の第1号案件である「能作プレステージ」の製品完成等が実現しております。

当第2四半期の連結売上高に関しましては、ロードアシスト事業、プロパティアシスト事業、ワランティ事業等の主要事業が堅調に成長し、20,688百万円(前年同期比15.6%増)となりました。営業利益に関しましては、ロードアシスト事業、ワランティ事業の収益性が向上し、グループ全体としては2,417百万円(前年同期比20.7%増)となりました。経常利益に関しましては、為替差益の計上があり、2,595百万円(前年同期比19.3%増)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は特別損失として事業撤退損150百万円を計上する等赤字決算となった連結子会社の影響を受け1,340百万円(前年同期比7.8%減)となりました。

	前第2四半期	当第2四半期	参考 前連結会計年度
売上高	17,901百万円	20,688百万円	37,196百万円
営業利益	2,002百万円	2,417百万円	4,687百万円
経常利益	2,176百万円	2,595百万円	4,928百万円
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,453百万円	1,340百万円	3,185百万円
1株当たり当期純利益	11.38円	10.48円	24.91円



● ロードアシスト事業

主に損害保険会社や自動車メーカー向けにサービスを提供しているロードアシスト事業は、損害保険会社向けサービスの堅調と自動車メーカー向けサービスの高い需要を取り込んだことにより、増収となりました。

営業利益につきましては、オペレーションと現場対応グループ会社の安定的な稼働により、増益となりました。

	前第2四半期	当第2四半期
売上高	7,392百万円	9,429百万円
営業利益	740百万円	1,145百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	+2,037百万円	+27.6%
営業利益	+405百万円	+54.7%

● プロパティアシスト事業

分譲・賃貸マンション・戸建ての専有部の一次修繕とコインパーキングのメンテナンスを提供するプロパティアシスト事業は、不動産向けサービス(ホームアシスト)の堅調な成長により、増収となりました。

営業利益につきましては、新センターの稼働に向けた採用・教育費用の発生、基幹システム稼働等の先行コストが発生し、減益となりました。

	前第2四半期	当第2四半期
売上高	2,389百万円	2,627百万円
営業利益	301百万円	245百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	+238百万円	+10.0%
営業利益	-56百万円	-18.7%

● インシュアランスBPO事業

保険に関するサービスを提供しているインシュアランスBPO事業は、海外駐在員向けサービス(ヘルスケア・プログラム)の新規クライアント獲得及び会員数の堅調な増加により、増収となりました。

営業利益につきましては、サービス価値向上を目的としたシステム投資による先行コスト及び海外旅行保険の取り扱いが一部減少したため、減益となりました。

	前第2四半期	当第2四半期
売上高	2,013百万円	2,187百万円
営業利益	246百万円	225百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	+173百万円	+8.6%
営業利益	-20百万円	-8.4%

● ワランティ事業

保証に関するサービスを提供しているワランティ事業は、家賃保証プログラム及び自動車延長保証が堅調に推移し、増収となりました。

営業利益に関しては、家賃保証プログラムの収益が回復し、増益となりました。

	前第2四半期	当第2四半期
売上高	2,257百万円	2,526百万円
営業利益	377百万円	554百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	+268百万円	+11.9%
営業利益	+176百万円	+46.7%

● ITソリューション事業

ITソリューション事業におきましては、検収完了案件の獲得があり増収となりました。

営業利益に関しては、グループ内の開発案件活動が高稼働を継続しており増益となりました。

	前第2四半期	当第2四半期
売上高	255百万円	347百万円
営業利益	26百万円	70百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	+91百万円	+35.8%
営業利益	+44百万円	+168.5%

● カスタマーサポート事業

国内のカスタマーコンタクトサービスと日本人駐在員向けクレジットカードサービスを展開しているカスタマーサポート事業は、既存受託業務の堅調により、増収となりました。

営業利益に関しては、前期課題であったプログラムの課題解消により増益となりました。

	前第2四半期	当第2四半期
売上高	3,196百万円	3,278百万円
営業利益	356百万円	398百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	+81百万円	+2.6%
営業利益	+41百万円	+11.7%

● 派遣・その他事業

派遣・その他事業におきましては、発達障害児支援プログラムにおいて、自治体から受けている給付金に過誤請求があった事実が発覚し、本件に対応する現段階で認識している損失相当分131百万円を処理しております。なお、本件に関する最終判断は自治体にありますので変動する可能性があります。上述の事項が発生したことにより、減収、減益となっております。

	前第2四半期	当第2四半期
売上高	396百万円	292百万円
営業利益	-46百万円	-221百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	-104百万円	-26.3%
営業利益	-174百万円	-377.2%

(2) 財政状態に関する説明

[財政状況]

当第2四半期末における総資産は、40,358百万円となり前連結会計年度末に比べ1,334百万円増加となりました。流動資産は、受取手形及び売掛金が408百万円増加、立替金が317百万円増加し、前連結会計年度末に比べ、580百万円増加しております。また固定資産は、有形固定資産の建物及び構築物(純額)が2,054百万円増加、有形固定資産のその他(純額)が1,636百万円減少し、前連結会計年度末に比べ754百万円増加しております。

負債に関しましては、流動負債のその他が213百万円増加、資産除去債務が161百万円増加、流動負債の支払手形及び買掛金が127百万円増加いたしました。これらにより負債合計では前連結会計年度末より467百万円増加し、11,751百万円となりました。

また、純資産については、配当の支払いが2019年6月に発生いたしました。親会社株主に帰属する四半期純利益が1,340百万円であったため前連結会計年度末に比べ867百万円増加しております。

[キャッシュ・フローの状況]

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、2,440百万円の収入(前年同期比96.1%増)となりました。主なプラス要因としては、未払消費税等が1,127百万円、税金等調整前四半期純利益が264百万円等であり、主なマイナス要因としては、売上債権が762百万円、賞与引当金が104百万円、その他の資産が62百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、2,008百万円の支出(前年同期比72.3%増)となりました。主な要因は、有形及び無形固定資産の取得による支出が777百万円、定期預金の払戻による収入が274百万円、投資有価証券の売却による収入が5百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、650百万円の支出(前年同期比16.9%増)となりました。主な要因は、短期借入金の返済による支出が50百万円、長期借入金の返済による支出が125百万円、配当金447百万円、非支配株主への配当金の支払額が35百万円等によるものであります。

以上の結果、当第2四半期末における現金及び現金同等物の残高は、14,857百万円(前年同期比6.2%増)となりました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,015,372	14,865,921
受取手形及び売掛金	4,164,211	4,572,634
商品及び製品	22,194	23,923
原材料及び貯蔵品	29,017	61,954
立替金	3,894,824	4,211,853
その他	1,865,262	1,846,603
貸倒引当金	△529,787	△541,134
流動資産合計	24,461,095	25,041,755
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,478,234	7,532,242
その他(純額)	3,175,227	1,538,474
有形固定資産合計	8,653,461	9,070,716
無形固定資産		
その他	915,803	940,698
無形固定資産合計	915,803	940,698
投資その他の資産		
投資有価証券	4,280,695	4,586,021
その他	756,528	762,352
貸倒引当金	△43,704	△42,901
投資その他の資産合計	4,993,519	5,305,472
固定資産合計	14,562,783	15,316,887
資産合計	39,023,879	40,358,643

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,347,346	1,475,113
短期借入金	400,000	350,000
未払法人税等	792,586	796,579
賞与引当金	537,052	603,584
保証履行引当金	75,923	76,666
その他	6,135,475	6,348,484
流動負債合計	9,288,384	9,650,428
固定負債		
長期借入金	750,000	625,000
退職給付に係る負債	3,544	3,531
資産除去債務	974,800	1,136,424
その他	267,697	336,585
固定負債合計	1,996,042	2,101,541
負債合計	11,284,427	11,751,970
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,486,668	1,491,317
資本剰余金	2,758,413	2,762,688
利益剰余金	21,192,747	22,100,035
自己株式	△207	△248
株主資本合計	25,437,622	26,353,792
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	376,640	420,573
為替換算調整勘定	529,735	299,573
その他の包括利益累計額合計	906,376	720,147
新株予約権	85,687	111,563
非支配株主持分	1,309,766	1,421,168
純資産合計	27,739,452	28,606,673
負債純資産合計	39,023,879	40,358,643

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	17,901,362	20,688,764
売上原価	14,083,139	16,339,509
売上総利益	3,818,222	4,349,255
販売費及び一般管理費	1,815,473	1,931,388
営業利益	2,002,749	2,417,866
営業外収益		
受取利息	6,632	6,404
有価証券利息	39,660	53,001
受取配当金	4,156	4,996
持分法による投資利益	70,227	27,227
投資有価証券売却益	1,649	—
為替差益	62,620	106,631
その他	8,334	17,337
営業外収益合計	193,282	215,599
営業外費用		
支払利息	568	1,136
障害者雇用納付金	7,635	17,400
投資有価証券評価損	4,845	—
その他	6,814	19,581
営業外費用合計	19,864	38,117
経常利益	2,176,167	2,595,348
特別利益		
固定資産売却益	2,589	1,846
補助金収入	103,564	—
特別利益合計	106,154	1,846
特別損失		
固定資産売却損	—	3,467
固定資産圧縮損	103,564	—
事業撤退損	—	150,048
特別損失合計	103,564	153,516
税金等調整前四半期純利益	2,178,757	2,443,678
法人税、住民税及び事業税	710,836	927,668
法人税等調整額	△72,681	28,290
法人税等合計	638,155	955,959
四半期純利益	1,540,602	1,487,718
非支配株主に帰属する四半期純利益	86,627	147,331
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,453,975	1,340,386

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	1,540,602	1,487,718
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	48,586	40,916
為替換算調整勘定	232,621	△230,161
その他の包括利益合計	281,207	△189,245
四半期包括利益	1,821,810	1,298,472
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,735,200	1,154,157
非支配株主に係る四半期包括利益	86,610	144,314

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,178,757	2,443,678
減価償却費	467,388	534,144
貸倒引当金の増減額(△は減少)	21,834	10,232
賞与引当金の増減額(△は減少)	170,967	66,843
保証履行引当金の増減額(△は減少)	2,131	742
受取利息及び受取配当金	△50,450	△64,402
有形及び無形固定資産売却損益(△は益)	△2,589	1,621
支払利息	568	1,136
為替差損益(△は益)	△387,589	△277,451
持分法による投資損益(△は益)	△70,227	△27,227
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,649	—
投資有価証券評価損益(△は益)	4,845	—
補助金収入	△103,564	—
固定資産圧縮損	103,564	—
固定資産除却損	4,608	1,619
事業撤退損	—	150,048
売上債権の増減額(△は増加)	155,628	△782,837
たな卸資産の増減額(△は増加)	△53,302	△34,681
その他の資産の増減額(△は増加)	△429,469	△491,901
仕入債務の増減額(△は減少)	△21,171	153,839
その他の負債の増減額(△は減少)	555,666	811,955
未払消費税等の増減額(△は減少)	△467,990	659,617
その他	42,258	65,246
小計	2,120,214	3,222,224
法人税等の支払額	△927,625	△844,637
利息及び配当金の受取額	52,300	65,429
利息の支払額	△488	△2,289
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,244,400	2,440,727

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,235,623	△2,012,843
有形及び無形固定資産の売却による収入	2,743	81,825
投資有価証券の取得による支出	△248,614	△200,000
投資有価証券の売却による収入	5,184	—
貸付けによる支出	△4,802	△4,250
貸付金の回収による収入	3,292	2,399
差入保証金の差入による支出	△34,223	△22,708
差入保証金の回収による収入	21,150	35,657
補助金の受取額	53,562	113,297
定期預金の預入による支出	—	△58
定期預金の払戻による収入	274,139	—
その他	△1,991	△1,425
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,165,183	△2,008,106
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	—	△50,000
長期借入金の返済による支出	△87,500	△125,000
自己株式の取得による支出	△13	△40
配当金の支払額	△446,769	△447,109
非支配株主への配当金の支払額	△30,793	△35,878
リース債務の返済による支出	△1,124	△4,181
ストックオプションの行使による収入	9,631	11,819
子会社の自己株式の取得による支出	△62	△44
財務活動によるキャッシュ・フロー	△556,633	△650,436
現金及び現金同等物に係る換算差額	554,274	68,408
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	76,858	△149,406
現金及び現金同等物の期首残高	13,917,228	15,006,567
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,994,086	14,857,161

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。